

帯状疱疹の予防 ワクチンの重要性



帯状疱疹にかかったとき、ワクチンを接種しておいた方がよかったねと言われました。どのような理由からでしょうか。



日本では80歳
までに約3人に
1人が経験する

といわれる帯状の小水疱
(すいほう)と痛みの帯状
疱疹、その原因の水痘・

帯状疱疹ウイルスの活
動を予防するためにワク
チンが推奨

される理由

は、後遺症の
痛み以外に

合併症があ
ります。特

に、比較的

頻度の高い頭部や顔面
の帯状疱疹では、まれで

すが髄膜炎、脳炎を起こ
します。髄膜は脳と頭蓋

骨の間にある膜で、中に
脳脊髄液という脳に栄

養を補給する液体が流
れています。これが感



染して髄膜に炎症

を起こした状態が髄膜

炎です。脳自体に炎症が

及ぶと脳炎になります。

中には血管に

炎症が及んで、

脳梗塞や認知

症を起こすこ

ともあります。

また鼻筋や鼻

先ならば結膜炎や角膜

炎となり、ひどい場合に

は失明することもあり

ます。このワクチンは副

作用も少なく、いわば転

ばぬ先のつえならぬ知恵

かもしれませんね。



朝倉病院
理事長／院長
田辺 裕久さん